

のぼる・くだる・もぐる

設計趣旨

この美術館は、若い世代を中心に幅広い年齢層の地域住民が、日常生活の中で彫刻に触れ、学習できる場所として計画しました。またカフェや公園機能をもうけ、誰もが気軽に利用でき、地域交流も図れる場所にし、利用者に居心地がいいと感じてもらい、生活の一部になるような空間を目指し考えました。

1

目標+ターゲット層

Goal

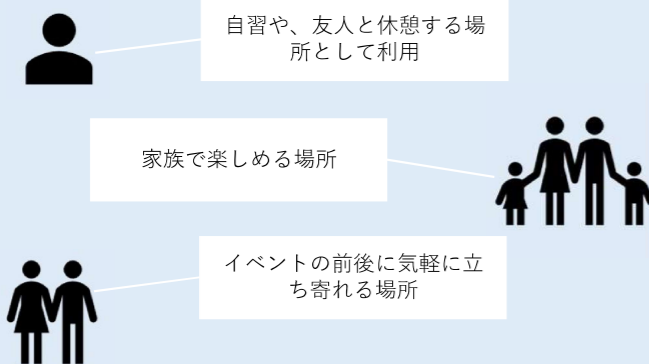
芸術に触れ、学べる、また芸術活動を行える空間を提供して、袋井市の文化芸術活動を促進する

愛野駅を利用する大学生や周辺に住む家族など誰もがいつでも立ち寄ることができる場所を提供する

Target

愛野駅を利用する大学生
エコパの利用者
周辺住民・袋井市民

- ・愛野駅周辺に休める空間がない
- ・周辺には若い家族が多い
- ・愛野駅を利用する、エコパのイベント参加者



2

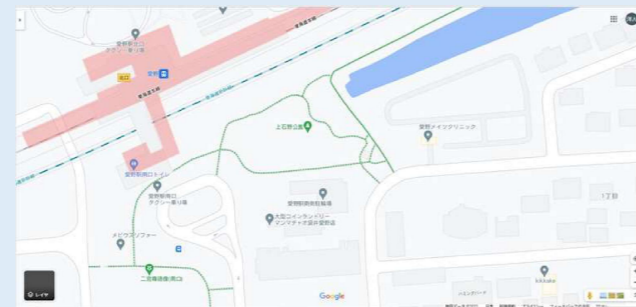
敷地調査

敷地所在地

静岡県袋井市愛野南1丁目 上石野公園

東側：調整池・駐車場
西側：駅ロータリー
南側：駐輪場・マンション
北側：東海道新幹線・東海道線

敷地すぐ北側を新幹線が走っており、線路は約3m高い位置を通っている
南側と東側、線路を挟んだ北側には住宅が広がっている。



3 設計データ

敷地面積：3,565m²
延床面積：1,248m²
建築面積：944m²

構造形式：SRC構造
階数：2階
主な仕上げ：コンクリート

4

コンセプト

自然と彫刻

ムーアは「彫刻は野外の芸術である」とした。そこで彫刻作品を野外でも室内でも自然を背景にして眺めることができるような空間を計画

視線の変化

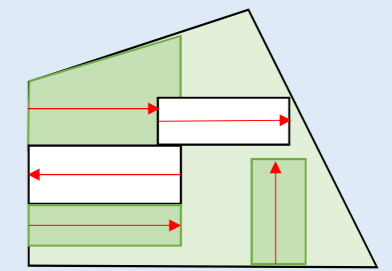
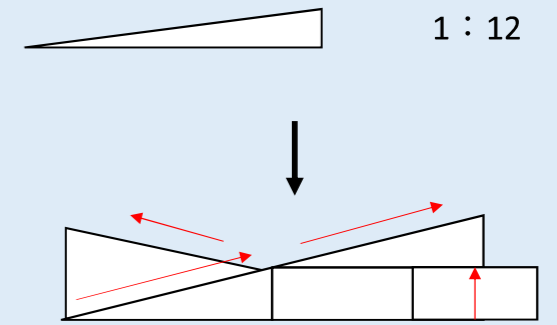
敷地と建物の屋根になだらかな勾配を付けて、敷地全体が丘陵のようなランドスケープになるように配置
坂をのぼったり、くだったりする移動の中で彫刻を様々な角度から見る事ができる。移動のなかで驚きや発見を生み出す

開いた空間

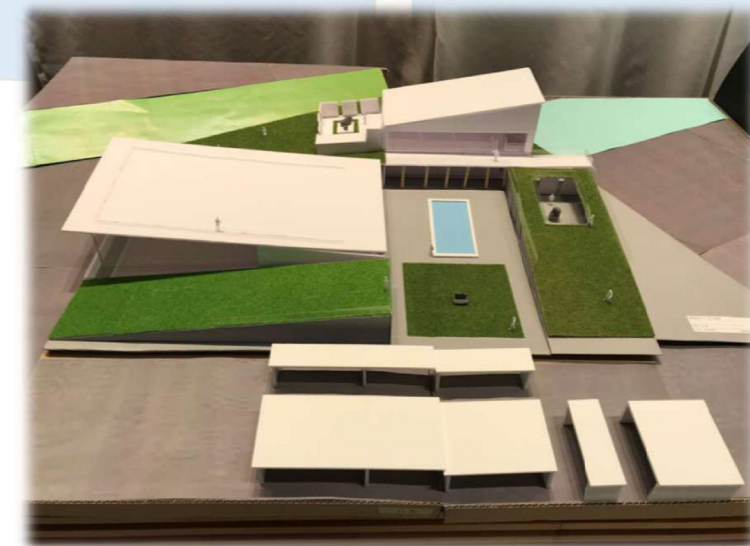
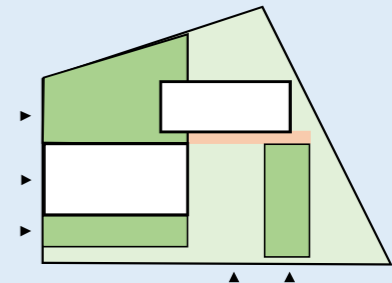
展示室以外は誰もが自由に行き来でき、美術館としてだけでなく、カフェのみの利用、屋外スペースだけの利用など気軽に入り込める場所

5

ダイアグラム



敷地全体、坂をつなげていく



6 作家と作品

作家：ヘンリー・ムーア
20世紀イギリスを代表する、芸術家・彫刻家。大理石やブロンズを使った抽象彫刻が多い。

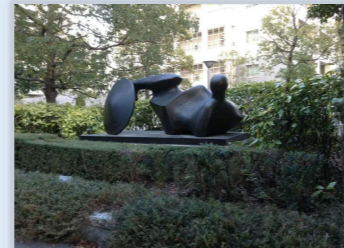
野外展示



①ファミリーグループ



②原子の形



③ゴスラーの戦士

有料展示



④スピンドル・ピース



⑤羊の形



⑥楕円形のポイント

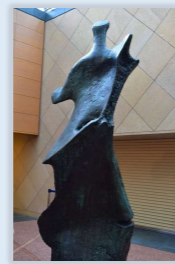
室内展示



⑦直立した接続した形



⑧3つの立っている像



⑨ナイフエッジ



⑩ポイント

